# 皆さんは沖縄県産パインアップルを食べたことがありますか？

7月は県産パインアップルが一番美味しくなる季節です。
今回は皆さんに少しでも興味を持ってもらうために、
県産パインアップルについてご紹介します！

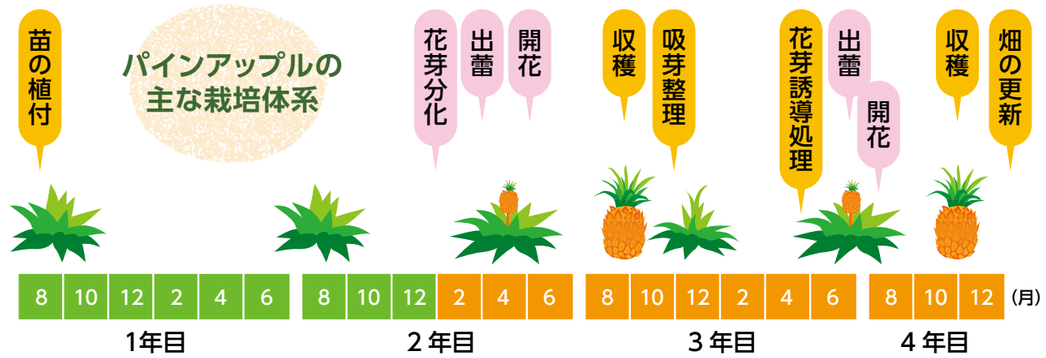
## パインアップルの栽培について

沖縄県内で、パインアップルは主に本島北部地域と八重山地域で栽培が行われています。

パインアップルは植付けから約1年半の期間、葉数を増やしながら株を生長させたのち株の中心から上に蕾を出し、紫色の小さな花をつけます。その後、花の基部が肥大し、店頭でよく見る果実の形になります。果実が熟してきたら、植付けから3年目にして収穫が行われます。農家は果実を1、2回程度収穫した後、畑を更新して再び植付けを行わなければなりません。このように、4年間で1株から2玉しか収穫することができないことから、パインアップルは贅沢な果物なのです！

県産パインアップルは、生で販売される生食用果実と缶詰などに加工される加工用果実が生産されており、生食用果実は主に3月から9月までの期間で出荷されています。

パインアップルは収穫した時が一番美味しく、その後はだんだん酸味が強くなってくるため、お店で買ったパインアップルはなるべく早めに食べましょう！




## パインアップルの品種について

パインアップルには様々な特性を持った品種があり、県内では「N67-10」、「ボゴール」及び「ソフトタッチ」の3品種が主に栽培されています。

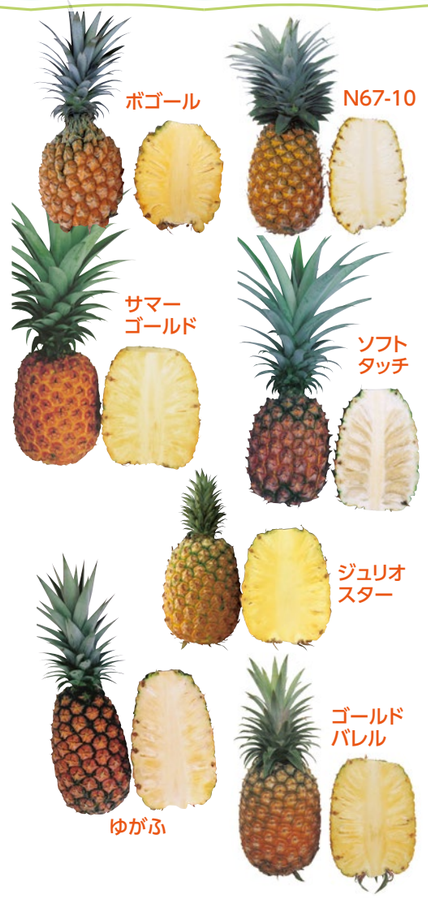
「N67-10」は生食用と加工用の両方の用途で利用されており、県内で最も多く栽培されている品種です。加工用としては8月～12月頃まで生産されていますが、良食味の期間が短いため、生食用としては夏期の一部期間しか生産されていません。しかし、その時期の果実は果汁が多く、甘みと酸味のバランスも良いため、八重山地域などでは非常に人気の高い品種となっています。「N67-10」は八重山産で5～8月、沖縄本島産では7～9月までが特に美味しく食べられる期間となっています。

「ボゴール」は果肉が黄色く、とても甘い品種です。また、果皮が薄いため手でちぎって食べることもできる特性から県外で非常に人気が高い品種となっています。「ボゴール」は八重山産で5～7月、沖縄本島産では5～8月までが特に美味しく食べられる期間となっています。

「ソフトタッチ」は県で初めて育成されたパインアップル品種で、桃のような甘い香りから「ピーチパイン」の名称で販売されています。「ソフトタッチ」の果肉は白く、甘みと酸味のバランスが良いとても美味しい品種です。「ソフトタッチ」は主に八重山地域で生産されており、5～7月までが特に美味しく食べられる期間となっています。

これらの品種の他、県では「ゴールドバレル」や「ジュリオスター」といった品種が新たに登録され、現在、県内各地で普及に向けた取組が行われております。

「ゴールドバレル」は平成17年に登録された品種で、大玉で、果肉色が良いのに加えて、果肉が柔らかく、ジューシーで非常に甘いのが特徴です。現在、東村を中心として高級果実としてのブランド化が進められており、空港や道の駅などに行くと、1個数千円の値段が付けられて店頭に並んでいることがあります。




### 沖縄で栽培されるパインアップル品種の良食味期間

ハウス栽培
露地栽培

| 品種名 | 地域 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| N67-10 | 本島北部 | | | | | | | | | | | | |
| | 八重山 | | | | | | | | | | | | |
| ボゴール | 本島北部 | | | | | | | | | | | | |
| | 八重山 | | | | | | | | | | | | |
| ソフトタッチ | 本島北部 | | | | | | | | | | | | |
| | 八重山 | | | | | | | | | | | | |
| サマーゴールド | 本島北部 | | | | | | | | | | | | |
| | 八重山 | | | | | | | | | | | | |
| ゆがふ | 本島北部 | | | | | | | | | | | | |
| | 八重山 | | | | | | | | | | | | |
| ゴールドバレル | 本島北部 | | | | | | | | | | | | |
| | 八重山 | | | | | | | | | | | | |
| ジュリオスター | 本島北部 | | | | | | | | | | | | |
| | 八重山 | | | | | | | | | | | | |

## 沖縄県の取組について

「ジュリオスター」は平成21年に品種登録された県で最も新しい品種です。「N67-10」同様、良食味の期間は短いですが、一番美味しい時期は甘さと酸味のバランスが良く、パインアップルらしい爽やかな味です。また、日持ちもするため、一部の地域で現在産地化に向けた取組が始まっています。八重山産で6月下旬～9月中旬、沖縄本島産では6月下旬～9月下旬までが特に美味しく食べられる期間となっています。

このほか、県では現在もパインアップルの品種改良に取り組んでおり、今後さらに美味しく、安定的に生産できる品種の登場が期待されます。

県では、パインアップルの品種育成以外にもパインアップルの生産振興のため、さまざまな取組を行っており、いくつかご紹介します。

**①栽培技術向上のため、農家へ栽培講習会や技術指導。**

**②パインアップルの優良果実出荷に向けた優良種苗育成。**

**③パインアップルブランド化に向けた産地育成支援を行っております。**

皆さんも今の時期しか食べられない沖縄の夏の味覚を是非ご賞味下さい！

### パインアップルの形態

お問い合わせ　県園芸振興課　電話：098-866-2266　FAX：098-866-8689